

校長室の窓から 83

070716 図工の作品づくり いろいろ

教室の様子を見て回ると、今の時期、掲示用の図工の作品づくりに取り組んでいる学年が多くあります。来週行われる個別懇談会の折に、保護者の方々にご覧いただくためでしょうか。

1年生の教室では「やぶいたかたちから」という学習を行っていました。紙をびりびりに破き、その形から想像をふくらませ、何かに見立てたユニークな作品をつくっていました。

私の顔をみるやいなや、1年生はてんでに「見て見て」と、自分の作品について自慢げに説明してくれました。どの作品も発想が豊かで豪快で、子供らしさにあふれています。

5年生の教室では、「消してかく」という学習をしていました。いったん紙を鉛筆で真っ黒になるまでこすり、そこから消しゴムを用いて消すことで白い線を浮かび上がらせるというものです。誰もが子供の頃、一度はノートの裏で遊んだようなことが、今は教材となっているのですね。

夢中になって鉛筆をこすっている5年生に手の裏を見せてもらおうと、案の定、真っ黒け！小学生時代を思い出して、なんだか懐かしい気持ちになりました。

懇談会の折に、どんな作品ができあがっているのか、保護者の皆様、ぜひ楽しみにしてください。



愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり